

【今、この部活動・サークルが面白い 第118弾 大道芸サークル Mocha】

今回は、大道芸サークル Mocha をご紹介します。副代表の一林隼佑さんにお話を伺いました。それではご覧下さい。

○どのような活動をしているのか教えてください。

ボールやクラブ(ボーリングのピンのような形の道具)、ディアボロ(ハンドスティックに通した糸でコマを回転させる道具。中国ゴマとも呼ばれる)といった道具を使ったジャグリングを練習するサークルです。決まった活動日はなく、各々自分の練習したい日に、放課後、総合教育棟の中庭で活動しています。週末には依頼を受けて市内の幼稚園や自動車学校などの施設をはじめ、県外でも活動しています。また、七夕祭りや学校祭でも発表を行っています。

○部員の人数はどれくらいですか。

部員は90人くらいです。全体数は多いですが、毎日練習に来る人もいれば、たまに来るという人もいますので、自分のペースで自由に練習している感じですね。

○一林さんが Mocha に入ったきっかけは何ですか。

七夕祭りのイベントで友達のパフォーマンスを見て興味を持ちました。それからサークルの見学に行ったのですが、そこで見た先輩のパフォーマンスのレベルの高さに感動して、この人みたいになりたいと思ったのがサークルに入ったきっかけです。

○一林さんが考えるジャグリングの魅力は何ですか。

自分の特技として、履歴書に書くことができたりするところはいいですね。バイト先でも話題になったりして受けがいいです。また、人を楽しませることが出来るのが一番の魅力だと思います。自分がやっていて楽しいですし、それを見て楽しんでもらえるところがジャグリングのいいところだと思います。さらに、人前でパフォーマンスをすることもとてもいい経験になります。人前で話すことにも慣れるので、将来、面接の時などに役立つと思いますね。

○最後に読者の方々へメッセージをお願いします。

ジャグリングは見ていてすごいと思っても、自分には難しいと敬遠されがちですが、やってみると意外とできるものです。実際に自分でやってみると大道芸への見方も変わって、より面白いと思います。新しい趣味にもなると思うので、ぜひ一度、触れてみて欲しいと思います。

どうもありがとうございました！

◆編集後記

今年度から新しく学生記者になりました、山本と申します。どうぞよろしく申し上げます。

先日、講義中にカエルの鳴き声が聞こえたので、外を見てみると雨が降っていました。「カエルが鳴くと雨」ということわざがありますが、アマガエルは気圧の変化を感じることで、雨が降ることがわかると考えられているそうです。私は鳴き声を聞いて、北海道の地元のどかな様子が思い浮かびました。聞き慣れた音というのは、何とも落ち着くものです。ただうるさく感じてしまうこともあると思いますが、カエルの鳴き声が聞こえる中で勉強するのも悪くないのではないのでしょうか。(山本)